

よくわかる

長もちする住宅の設計手法マニュアル

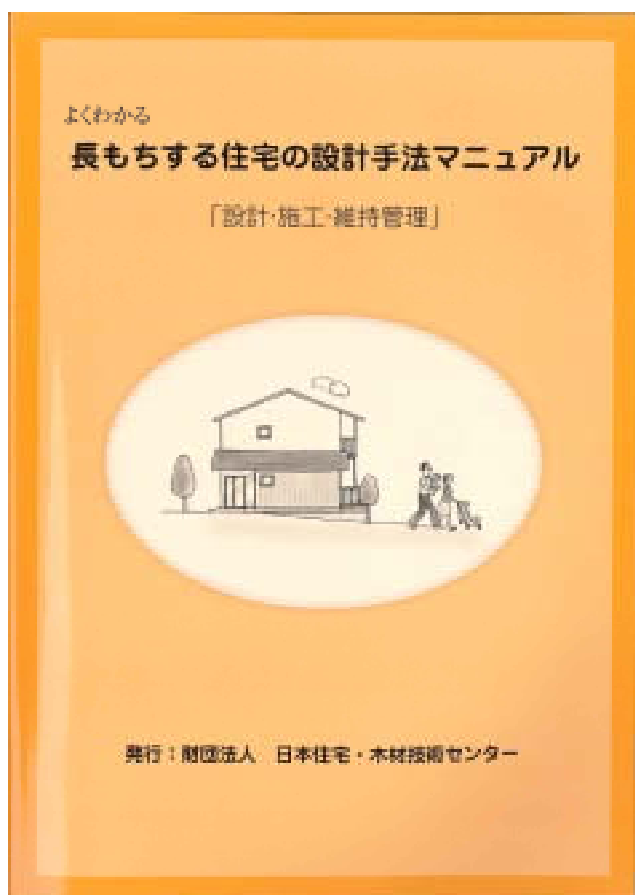
「設計・施工・維持管理」

(定価 2,100円 消費税込み)

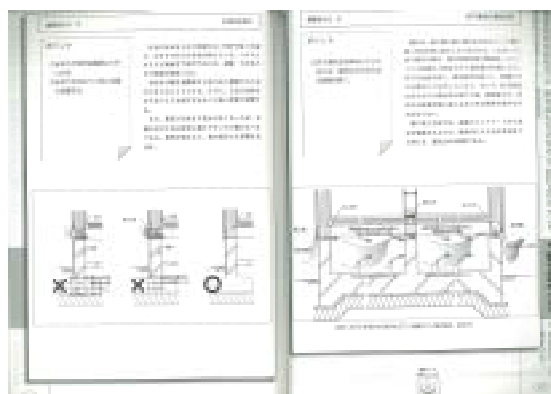
日本の住宅の寿命は、諸外国と比較して短く、25年程度と言われてきました。しかし、現在の住宅を取り巻く様々な環境を考えると、資源問題、エネルギー及びCO₂の問題、廃棄物処理問題等の観点から、スクラップアンドビルドは今後続けるべきではないと考えます。

住宅を長寿命化するためにはその設計、施工時において将来を想定した計画が組み込まれている必要があります。当該マニュアルはその認識に立ち、新築時の設計、施工のみならず、将来の補修交換、改修などの技術的な配慮と並んで生活者の世帯交代などの機能の変化に対応できる仕組みについて解説したものです。

また、別冊の「住まい方manual」は、住まい手の立場から、住宅を長持ちさせるためにはどのように日々の生活を送ればよいのかというアドバイスや点検方法、住まいの履歴書の作り方等を纏めた冊子です。



「よくわかる長もちする住宅の設計手法マニュアル」表紙



図や表で分かり易く解説しています。



別冊「住まい方manual」表紙